

# アトリエ 琉游舎 だより 116号

アトリエ琉游舎 [ryuyusha.com/](http://ryuyusha.com/)  
 琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>

2021年10月20日発行

## 萩が花尾花葛花撫子の花 女郎花また藤袴朝顔の花

- 『万葉集』巻8に収められた山上憶良の歌です。「萩の花 をはなくずはな なでしこが花をみなへし またふちはかま あさがほが花 」この日本の代表的な秋草を読んだ歌が「秋の七草」の始まりといわれています。朝顔の花は今では桔梗となっているようです。
- 春の七草と違って、秋の七草は食用ではなく純粋に観賞用のようです。尾花（すすき）以外はそれなりに花らしい花を付けているので、観賞用であることに異論ないでしょうが、尾花を観賞用として月見だんごと一緒に月を愛でる感性は万国共通のものなのではないでしょうか。
- 花札には芒（すすき）に月20点、芒に雁10点 芒のみカス2枚があります。かつては芒は「茅」（かや）と呼ばれ、農家で茅葺（かやぶき）屋根の材料に用いたり家畜の餌に利用することが多かったため、集落の近くには刈り入れ用のすすきの草原があったようです。花札のすすき草原は、かつてすすきが有用だった頃の風景を描写したものなのでしょう。
- 枯尾花は枯れすすきの古称です。もともと質素、貧相であったものがさらに落ちぶれた様子を喩えるあまり有り難くない言葉です「幽霊の正体見たり枯尾花」の諺が有名です。「恐怖心や猜疑心があると、何でもないものでも、怖ろしげなもの、怪しげなものに思えてしまう」ことの喩えに使われます。現代ではそこら中に外灯があって、枯尾花を幽霊と見間違えることはないでしょうが、私の子供の頃は夜道は怖いものでした。風で草木がそよぐ音と遠くにかすかにゆらめく草の影に、墓地の横を通り過ぎる時など駆け足になったものです。
- 選挙が始まります。テレビや新聞は枯尾花たちで埋めつくされることでしょう。よもや幽霊と見間違えることもない候補者たちの顔ですが、喋っている内容は幽霊話かも知れません。“候補者の正体見たり枯尾花”とまたカス札をつかまされるだけかもしれない幽霊だらけの中に芒に月の20点札を見いだすためにも投票だけはしなければなりませんね。

### 写経会

11月7日(日) 13時半  
 般若心経・自我偈・観音偈の手本を用意しています。初めての方もすぐにできます。

### 読書会

10/26・11/9 火曜13時半  
 日蓮の「立正安国論」と消息文を読みます。テキストもすべてご用意。

11月18日(木)映画会  
**お休みします**

10/28 木	13時半	心の旅路 (128分)	第一次大戦の後遺症で記憶喪失になった男と、彼を助ける心やさしいポーラの恋愛を描いたメロドラマ。ジェームズ・ヒルトンの原作。
11/4 木	13時半	真珠の首飾り (95分)	ゲーリー・クーパー、マレーネ・ディートリッヒ主演。女泥棒マデリーンは、パリの宝石商から真珠の首飾りをだまし取りスペインへ逃走する。国境の検問で焦った彼女は、、、
11/11 木	13時半	丘の一本松 (98分)	ジョン・ウエイン主演。山奥に暮らすトリヴァー家とファーリン家は代々犬猿の仲で争いが絶えなかったが、鉄道建設が始まったことで次第に人々は変わり始めていく。
11/18 木	<b>映画会お休み</b>		
10/28 木	13時半	市街 (82分)	ゲーリー・クーパー主演。ビールの密造で儲けるギャング一味、一味の養女ナンは父親の罪をかぶり刑務所に入るが恋人のキッドはナンを助けるためにギャングに仲間入りするが、

日本人がいろいろな場面で活躍している姿は日本人である私には大変嬉しいことです。直近ではノーベル物理学賞の受賞やオリンピックのメダルラッシュ。オリンピック憲章は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的意見、国や社会的な出身、財産、出自などで差別を受けることなくオリンピックの定める権利と自由を享受出来ると謳っています。これはコスモポリタニズムと同義だと私は思うのですが、さて現実はどうでしょう。少なくとも日本人の活躍を見て喜ぶ私は日本人が戦っている試合で相手の選手やチームを応援することは決してありません。オリンピックこそナショナリズム発揚の最高の舞台だと思うのですが。

私たちが日本人というときは言語や出自や国籍で日本人と他国人を区別しているようなのですが、はっきりした定義があるのか私には分かりません。今回ノーベル物理学賞を受けた方は言葉も肌の色も名前も顔の作りもどう見ても日本人にしか見えませんが、受賞発表の場に写されたスライドにはUSAと記されています。選考するスウェーデン王立科学アカデミーにとって彼は米国人であって日本人ではないことがよく分かります。しかし報道では日本人がノーベル賞受賞と持ち上げています。法的（国籍）には彼はアメリカ人という客観的な事実がありますが、私たちは感情的主観的に彼を日本人として見ようとするのでしょうか。私たちに日本人としての民族意識を満足させ、日本人という曖昧な概念に求心力を与えるには恰好の材料だからです。

見慣れたという表現が差別的で不適切と感じる人がいるかもしれませんが、テレビに映るJリーグや陸上、テニスなどで活躍する日本国籍を持つ、肌の色も顔の作りも私と異なる日本人を私たち日本人はようやく見慣れたのではないのでしょうか。これもテレビなどの報道と彼らの活躍のおかげです。日本国籍という法的事実と主観的感情の乖離が私たちの中で埋められる過程に今あることが、見慣れたという日常的な感情表現となっているのでしょうか。元日本国籍の人を日本人と呼び続けたいと思う日本人の心情と、人種や見た目がどうあろうとも日本国籍を持つ人を日本人として受け入れていこうとする心情の間に今立っているとするならば、今が「私たち日本人」という同質民族幻想のくびきを逃れるチャンスです。私がここで何回も「私たち日本人」と記述しなくても良いときが来れば、互いを日本人と分別する必要もなくなるはずなのです。

私たちは例えば国籍などの法的社会的立場や日本人としてなどの心情的な属性に拘泥しなければ、何者にもなり得るはずなのです。私の毎日は例えば、父であり夫であり僧侶であり、先生や会長や住職と呼ばれ、運転手をやり、小学生とゲームをし、法要を行い、掃除洗濯食事作りと、たった1日の中でもこれらの役割を演じている事があります。演じるというと役者として虚構の自分を演じることと誤解されそうなので、例えば英語で言う“play”や“perform”の意味と捉えてもらった方が良いでしょう。日々の生活を「行なう」毎日自由に「遊ぶ」という事です。今ある私に因縁縁起の法がある役を私に演じさせようとし、その役を私はありのままに演じればよいのです。私に「我」があればあるほど様々な役を演じることは難しくなるでしょう。逆に私が「無我」であろうとすれば自由にいろいろな役を演じることができるようになります。社会の役割や立場、国籍思想信条などの属性の衣装を脱ぎ捨てることができたら、つまり「無我」を獲得できれば私たちは何者にもなり得るのです。そして私には、何者にもでもなり得る私であるために願い誓い行う毎日があるのです。

観音菩薩は三十三身に応身すると法華経観世音菩薩普門品に説かれています。観音菩薩が世を救済するために、広く衆生の性格や仏の教えを受け入れる器に依じて、種々の形で世に現れるという教えです。仏のすがたを現して教えを語るべきものには仏の姿で世に現れ、童男童女の場合には童男童女の姿となって彼らに法を説いていく姿が全部で三十三身説かれています。どのような状況でも相手の立場や役割に応じて姿を変えてあなたの処に出向き一緒にやすらぎの世界に歩んでいきましょうと私たちを誘う三十三の姿です。法華経を表面的に読めば観音様に祈れば願いが叶うと誤読されてしまいます。それでは法華経は教えとしての価値がなくなります。法華経の文脈の中でこれを読めば、私の外側に観音菩薩がいて一心に祈り布施をすれば願いが叶うなどという詐欺まがいの教えは出てきません。三十三応身は私たち自身なのです。私たちが毎日演じている社会的法的家庭的個人的な種々の行ないが菩薩の三十三応身です。私の中に在る永遠のいのちが観音菩薩となっていろいろな姿の役割を自由にこだわりなく演じさせてくれることが菩薩の三十三応身です。仏も菩薩も私の外側のどこにもいません。それは私自身そしてあなた自身の中にだけ応身し、私たちが「無我」であろうとすればするほど菩薩は私たち自身の中にありとあらゆる姿となって現れ出て来るのです。

法華経の教えは私自身が仏であり菩薩であるという教えです。ただ私達はそれに気づいていないだけなのです。そしてまた私自身が地獄・餓鬼・畜生・阿修羅であるという教えでもあります。菩薩の三十三応身は私が餓鬼であれば餓鬼の姿となって私と共に歩んでくれるのです。それもやすらぎの処へと続く道です。そして気づけば私の中の餓鬼はいつの間にか菩薩となっていることでしょうか。今の自分が纏っている種々の衣にこだわらなことをやめ、その衣を自由に脱ぎ捨て新たな衣を纏う心の自由とそれを楽しみながら娑婆世界を遊ぶ（遊此娑婆世界<sup>注1</sup>）「無我」のところにはいつでも観世音菩薩はやって来てくれるのです。

五輪の日本人の活躍に、政府の思惑通りコロナ禍の状況を私たちは忘れて熱狂しました。しかし終わったとたん無策の矛先は以前に増して政府に向かいました。ナショナリズムの熱狂は熱しやすく冷めやすいのです。国家の欲望と経済亡者の塊の五輪を終結させるために 琉游舎：戸井 出琉・恭子  
お問合わせ：0287-53-7848 08033508152  
は国旗掲揚、国歌演奏、選手の国所属を止めるときかもしれませんね。 矢板市大槻2319-17コリーナ矢板C-850  
メール：toi10lizuru@outlook.jp